

評価項目			評価基準	調達仕様書の 該当箇所	
1	全般 (100点)	1.1	本業務の理解	本業務の基本方針を踏まえた提案である。	・調達仕様書P1～2
		1.2	共通パッケージの利用	当局独自に開発するのではなく、他の公営企業団体と共通のパッケージを利用する取組みについて提案している。 また、業務を標準化・合理化できる方法を提案している。	・調達仕様書P1
		1.3	業務実施体制	同種若しくは類似業務の経験豊富なメンバーを体制に組み込み、役割分担が適切かつ明確で、メンバーの能力・知識・経験等が高いこと。	・調達仕様書P12, 20
2	システム要件 (250点)	2.1	機能性	別紙の現行システム機能との対比表に対応する機能を提案している。 標準対応 (○) = 5点、代替案やカスタマイズ (△) = 5点～1点、対応不可 (×) = 0点 ※全機能の合計点が424点 (約80%) 未満の場合は「失格」とする。(満点: 530点)	・現行システム機能一覧
		2.2	使用性	利用者の操作性、利便性を向上させる機能を提案している。(データダウンロード機能、端末機操作時間外の画面照会機能など)	・調達仕様書P3
		2.3	性能性	オンライン処理の応答時間やバッチ処理の確実性を確保するための手法を提案している。	・調達仕様書P4～6
		2.4	可用性・完全性・業務継続性	システムの可用性・完全性・業務継続性を確保するための手法を提案している。 可用性…壊れにくく、いつでも使える 完全性…情報が安全で正確 (改ざんされにくい) 業務継続性…災害等の復旧が早い	・調達仕様書P5～6
		2.5	拡張性(1)	将来のシステム拡張に際して、柔軟かつ効率的に対応できる手法を提案している。	・調達仕様書P6
		2.6	拡張性(2)	外部連携 (愛媛県給与システム、愛媛県旅費システム及び愛媛県文書管理・電子決裁システムなど) 機能について、拡張性、柔軟性が見込める内容となっている。	・調達仕様書P6
		2.7	情報セキュリティ要件	システムの安全性向上のための手法を提案している。	・調達仕様書P7～8
		2.8	情報システム稼働環境	システム稼働環境の安定性向上のための手法を提案している。	・調達仕様書P8～10
3	開発要件 (200点)	3.1	プロジェクト管理	導入スケジュールは時期や手法の検討がされ、無理がないものとなっており、プロジェクト管理の手法は適切である。	・調達仕様書P11～14
		3.2	導入体制	担当者の業務経験及び保有資格等が記載され、十分な開発体制をとることができる。	・調達仕様書P12～14
		3.3	導入検討	開発の検討手法を提案している。 導入工程において、ドキュメント等を局の担当者が理解し易くする工夫及び局側の作業負担を減らす工夫を提案している。	・調達仕様書P14～15
		3.4	テスト	プログラム毎のテストに加えて、全体の整合性を検証するプロセスが確立されており、当局側のテスト作業負担を軽減する仕組みや工夫が提案されている。	・調達仕様書P15～16
		3.5	職員研修	利用者がシステムの操作方法等を効果的に習得するための手法を提案している。	・調達仕様書P16
		3.6	移行	現行システムからの移行を確実かつ効率的に実施するための手法を提案している。	・調達仕様書P16～18
4	運用保守要件 (100点)	4.1	プロジェクト管理	業務管理体制及び業務管理手法を提案している。	・調達仕様書P19～20
		4.2	法改正等への対応	稼働後、法改正等によるシステム改修を安価かつ効率的に対応できる手法を提案している。 改元や消費税率が変更された場合は、システム改修することなく、容易に対応できる。	・調達仕様書P1
		4.3	運用保守業務要件	システムを運用するうえで、運用技術者の配置や利用者からの問合せ対応の方法について妥当な提案をしている。	・調達仕様書P20～21
		4.4	機器等提供要件	機器等のコスト低減に向けた提案をしている。	・調達仕様書P21
		4.5	サービスレベル	サービス品質を保証するサービスレベル目標値を提案している。	・調達仕様書P21～22
5	追加提案 (100点)	5.1	財務会計システムの実績	他の公営企業団体における同等の実績がある。	
		5.2	令和12年度以降の対応	令和12年度以降の運用保守経費の見込みを提案している。	
		5.3	その他 優れた提案	当局にとって有効な優れた追加提案がある。	
6	価格評価 (250点)	6.1	開発費用 運用保守費用	提示価格により価格評価を算出 (算定式: $250 \times (1 - (\text{提示価格} \div \text{上限額}))$)	
配点合計 (1,000点)					

※6を除く得点が450点を下回る場合は、選定しない。